

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム やまぶき

作成日 : 平成 23年 10月 28日

評価結果

市町提出日 : 平成 23年 10月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-(3) イ	運営推進会議という堅苦しい名称のもと、会議の議題や進め方の下手さも手伝い、「やらされた感」を持ち、年間6回の開催が困難であった	年6回会議が開催出来る	入居者の生活に関することであれば、「何でもあり」的に柔軟に考え、常にありのままの姿を会議で報告し、協力者としての関係作りが出来、会議の効果を出せるように行う	12 か月
2	6-(5) ○	職員の身体拘束への理解、意識付けは出来ているが、やむを得ず行うことがある	やむを得ずは禁	◎夜間オムツ交換時、下腹部に手を持って行く(指示がとおらない)→お気に入りのぬいぐるみを持たせたり、下肢マッサージをしたり、両手を隠さない工夫をする ◎入浴時の生活の出入口の施錠→1Fと2Fの入浴の日が違うので、ウロウロ落ち着かない人は、1Fに預かる ◎二本柵→夜間巡視を頻回に	2~3 か月
3	33-(12) ○	協力病院の24h対応は不可能であるが、超高齢者や、利用年数が長い人程、重度化した後もホームで介護してもらいたいと考えている家族がいる	看取り支援が出来る	協力病院との連携協議会を通し、経営者の理解協力を得ることで、状態が変容した時にいつでも相談出来、かけつけてくれる医療機関との関係作りから出来ればと思っている 入居者に対する熱意や看取りに対する想いだけで取り組むことなく、客観的な力量を踏まえて取り組む	36 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。